

幼児通級「にこにこ」だより

令和5年9月 No.3



2学期がスタートしました。幼児通級「にこにこ」に通って来ている子ども達や保護者の皆さんは、担当者や教室の雰囲気慣れ、笑顔で通って来てくれています。笑い声が絶えない楽しい時間ですが、子ども達の心の声を聴くことや気持ちを見つめることも大切にしていきたいと考えています。

在籍園に行かせていただいています

「にこにこ」に通っている子ども達の在籍園に行き、園での様子を見せていただいたり、園長先生や担任の先生にお話を聞いたりしています。お忙しい中、時間を作っていただきありがとうございます。

「にこにこで遊んだスライムの作り方を教えてねって話をしたんですよ。」「作った物を見せてくれました。」という話もお聞きし嬉しく思っているところです。園での様子やお話を今後の指導に活かしていきたいと思えます。また保護者の皆さんの了解を得て個別の指導計画について説明に行かせていただきたいと思えます。どうかよろしくお願いたします。

サツマイモが大きくなっています

「にこにこ」に通ってくる子ども達と収穫やクッキングを楽しみたいと思っています。クッキングでは、楽しみながらいろいろな力がつきます。自己決定する力や話し合いながら進める力、用具を扱う力などです。どんな料理ができるのか、今から楽しみです。



個別の指導計画について

一人一人に個別の指導計画を作成し、保護者の皆さんに説明し、了承していただいています。ねらいには「長期のねらい」「短期のねらい」の二つがあります。「長期のねらい」は、3月までのねらいで「短期のねらい」は半年後のねらいになります。保護者の皆さんに了承していただいた個別の指導計画は、在籍園にもお伝えします。保護者の皆さん、在籍園の先生方と連携しながら一人一人の育ちを支えていきたいと思えます。

お手紙をいただきました！

7月のある日、笑顔で手紙を渡してくれた子がいました。手紙には「たなかせんせい、かわべせんせい、やさしくしてくれてありがとう。」と書いてありました。よく見ると何回も書き直した跡がありました。「やさしさを貰ったのは、私達のほうだよ。ありがとう。」と話しました。気持ちのやりとりを積み重ねることを大切にしながら信頼関係を築いていきたいと思えます。やさしさと大きな勇気もらった手紙でした。

